

【結果公表】

(別紙)

弥富市教育大綱（案）に対するパブリックコメントの実施結果については、以下のとおりです。

案件名	弥富市教育大綱（案）		
募集期間	平成28年5月2日（月）～平成28年6月1日（水）		
担当課	教育部 学校教育課		
募集結果の概要	弥富市教育大綱（案）に対する意見を募集した結果、2人の方から4件の意見が提出されました。		
意見提出数	持参	1人	1件
	郵送	0人	0件
	ファクシミリ	0人	0件
	電子メール	1人	3件
	合計	2人	4件

提出された意見と市の考え方

NO	意見(要約)の内容	市の考え方
1	弥富中学校だけがプールがない。学力だけが学ぶことではないと思います。なぜないのか。	平成19年12月に新設された時にプールの設置について議論されましたが、水泳授業での利用状況、コスト面等総合的に判断し、市民プールを活用し、市管理のバスでの送迎により授業を行うこととしました。 今後も継続していきます。
2	十四山地区の児童生徒数は少ない。小中一貫校にしてはどうか。	平成25年7月に設置された弥富市立小中学校適正規模検討委員会で十四山地区の2小学校と1中学校で、小中一貫校による適正規模化についても検討を行いました。小中一貫校の取り組みは特色ある教育であり、「中1ギャップ」と言われる不登校問題や生徒指導問題の対応や小中学校の教職員間の授業交流により、児童生徒の学習

		<p>意欲や学習効果の高まり、児童生徒の異学年による行事交流により、望ましい心身の発達が促進され、人間形成に大きな効果が生まれることが対応策とはなるものの、小規模校の改善に直接つながるものではないとの見解に至り、安易に小中一貫校をつくるのではなく、将来的な展望の中で慎重に検討していくことが確認されました。</p>
3	<p>中学校の修学旅行先を命の大切さがわかる広島にすべきだと思います。</p>	<p>平成 23 年度より弥富市内中学 2 年生全員が、平和に関する事前学習をし、実際に見たり聞いたりする体験によって、核の恐ろしさや平和のありがたさを肌で感じとってもらうことを目的として被爆地である広島を訪れています。</p> <p>今後も引き続き、平和教育として本事業を推進していきます。</p>
4	<p>小学校での「家庭訪問」が「地域訪問」に変わってきている。</p> <p>「人が輝き文化が薫るやとみ」を目指すためには、子どもたちの心に豊かな心が育まなければならない。そのためには、「学校」だけでなく「家庭」がとても重要です。</p> <p>訪問の形態が変わることによって学校と家庭との連携が薄れていくことが心配です。</p> <p>理念の実現に向けて、「個々の家庭が弥富をつくる」という考えで、今後も家庭との連携を図ってまいります。</p>	<p>現在、「家庭訪問」から「地域訪問」へ形態が変わってきていますが、「PTA 総会」や「学級懇談会」、「個人懇談会」をとおして保護者の方と子どもたちの情報を共有しています。</p> <p>今後も「学校」と「家庭」の関係が薄れることのないよう、基本理念を推進して子どもたちが豊かな人間性を育むことができるよう、様々な施策を推進していきます。</p>